

# 未来志創

よっしゃ！顔晴ろう！

やれることに着手せよ

保護者懇談会も終わり、今学期ものこすところあと2日になりました。皆さんにとって、どのような2学期になりましたか？嬉しいことや楽しいこと、一方で苦しいことや悲しいこと、辛いこともあったことと思います。日々いろいろな感情を味わう私たちですが、ふと振り返ったときに、「あの経験があったからこそ、今の自分がある」と前向きに捉えられるようになりたいものですね。一年を振り返り、成長を実感したうえで、次の目標を立ててみてください。

## 人がぶち当たる「二つの壁」とは・・・？

何か「これは」と思うものをやろうとするとき、人は**二つの壁**にぶち当たる。それは、**自分の能力の壁と環境の壁**である。**能力の壁**とは自分の問題、いわば「**内なる壁**」とっていいだろう。努力次第でどうなる場合もあるし、ならない場合もある。**環境の壁**とは、自分の置かれている状況がその目標に向かって進むことを阻んでいるということである。金銭的な問題や両親が反対しているといったケースが考えられる。「内なる壁」に対比させるなら、これは「**外なる壁**」と言える。

さて、こうした壁にぶつかり、それがちょっとした努力では乗り越えられそうもないとき、人はたちまち無条件降伏してしまいがちである。**できない理由**を探し始めるのは、こういうときだ。その熱心さたるや驚くべきものである。その情熱をやりたいことに注げば、内的な壁も外的な壁もたちまち崩れさろうというほどだ。しかし、壁にぶつかっていくことを恐れ、失敗を恐れるがゆえに、人は挑戦することをやめてしまうのである。

専門分野を本格的に勉強するために、外国の大学に行きたいと思ったとする。当然、さまざまな苦勞を強いられることだろう。慣れない外国での生活、金銭面の問題、勉強の辛さ…。しかし、そこでさまざまな悪条件をあげつらって、やはり無理だと諦めては、結局なにも得ずに終わってしまう。そこで、もろもろの悪条件を乗り切れることは、ただ平凡に国内で勉強をつづけるよりもはるかに自分のためになるし、その辛い経験は、結局は自分の血肉となる、こう考えるのである。物事を簡単に諦めるという傾向は、最近の若い人によく見られることである。それは、一つのことに真剣に取り組んだことがないために、臆病になっているだけなのではないか。

「できない理由」など、探し始めたらきりがなくなってしまう。ならば、「できない理由」、すなわち諦める口実を探すより、「**やれることに着手せよ**」と言いたい。

『人生の手引き書 ～壁を乗り越える思考法～』（渡部昇一）より

心的態度として、人には二つの姿勢があります。一つは、現状を打破しようとする姿勢。もう一つは、現状維持の姿勢です。何か事があったとき、多くの人は、現状維持の姿勢を取りがちです。生物の習性として、どうしても現状を守るという本能が働いてしまうのだと考えられます。

しかし、かつて地球においては急激な気候変動等、環境に激変したとき、恐竜のようにその変化に対応できなかった生物は絶滅しました。現状打破の姿勢がなければ、変化には対応できないからです。それは言い換えれば、「できない理由を探さない」ということです。できない理由を探すのではなく、どうすればできるのかと少しでも前に進む方法を考えてみてはいかがでしょうか。